

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業時間内におけるコメントカードによる学生の理解度・到達度を全科目で確認する。	→コメントカードによる学生の理解度・到達度確認の実施。	B	B	B	B	/
2. 学部における成績上位者を公表する。	→成績上位者の公表。	A	A	A	A	/
3. 専門的人材を養成できたかどうかを評価する。	→社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験資格取得者の合格率、中学校・高等学校教員免許取得者数、公務員試験合格者数、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格取得者数、福祉・健康関連施設・機関への就職率、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体への就職率、大学院進学率、社会起業の立ち上げ数。	-	-	B	A	/
4. 中学校・高等学校教員、公務員、福祉・健康関連施設・機関、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体といった教育目標に合わせた就職を実現する。	→就職の実績数値。	-	-	B	B	/
5. 総合的な質的評価を開発する。	→総合的な質的評価の実施回数。	D	D	C	C	/
					☆	
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	科目担当教員によって実施内容はさまざまであるが、各授業においてコメントカードを用いた学生の理解度、到達度を把握している。
目標2	学年末において、各学科GPA上位5%の学生を学年ごとに顕彰している。
目標3	社会福祉士の国家試験合格者は19名であり、合格率は30.2%であった。精神保健福祉士の合格者は9名であり、合格率は90.0%であった。中学校・高等学校教員免許、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格といった種々の専門資格の取得、ならびに公務員試験の合格や大学院への進学等も実現できている。
目標4	就職決定率は97.1%と高く、就職希望者のほとんどが採用試験に合格している。教育・公益・その他のサービス業への就職率33%、公務員への就職率9%など、人間福祉学部の学びを活かせる教育関連や公益法人への就職が実現できている。
目標5	総合的な質的評価の開発について検討している。
備考	